

平成25年度 学校給食用牛乳びんの導入支援に 向けたモデル事業の報告



平成26年3月
びん再使用ネットワーク
学乳びん導入支援プロジェクト



学乳びん導入支援プロジェクト

- 【目的】小中学校で学乳びんを希望する自治体への導入支援をする。導入の**効果**(環境教育、健やかな成長育む食育)と**課題**を明らかにする。
- 【準備会】平成25年9月立ち上げ、5回開催。
- 【メンバー】びんリユースの普及を目指す市民団体、事業者、環境教育関係者、乳業メーカーなど
- 【活動】 導入自治体(日野市、小平市、国立市、茂原市など)の調査、 都内の自治体に関心があると見込まれる関係者へアプローチ



モデル事業

- 1月：学乳びん導入支援プロジェクトの立ち上げ
- 2月：自治体関係者等へのモデル事業説明会の開催（2月28日）
- 3月：学乳びん導入支援説明パンフレットの作成



2月28日「学乳びん導入支援説明会」

【会場】飯田橋セントラルプラザ17F

【内容】

環境省よりモデル事業の趣旨説明

鈴木善次(大阪大学名誉教授)挨拶

導入自治体(日野市、小平市)から報告

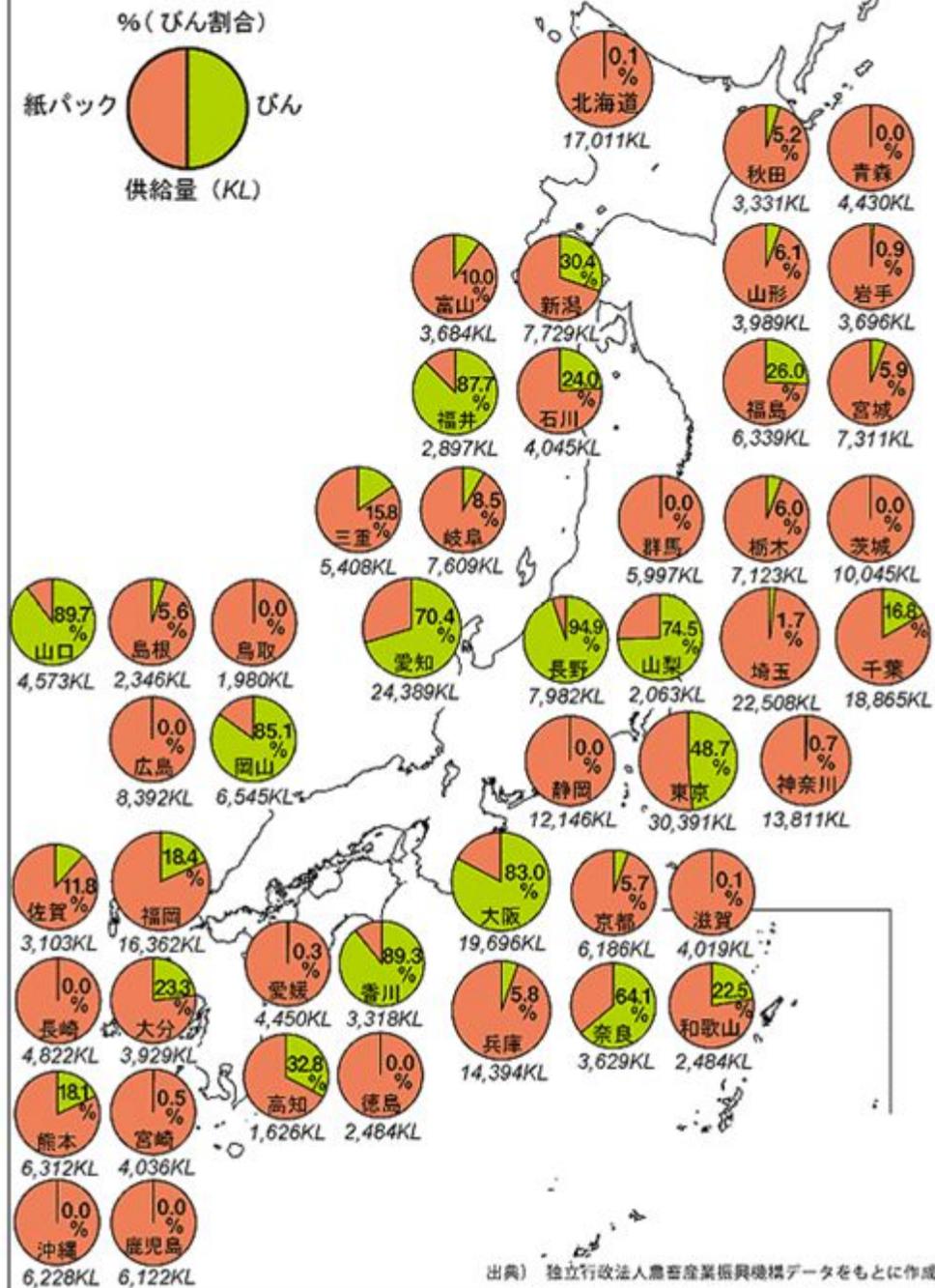
生産者から工場見学の様子など報告

なぜ「びん」は美味しいかの説明

導入に向けた課題などを意見交換

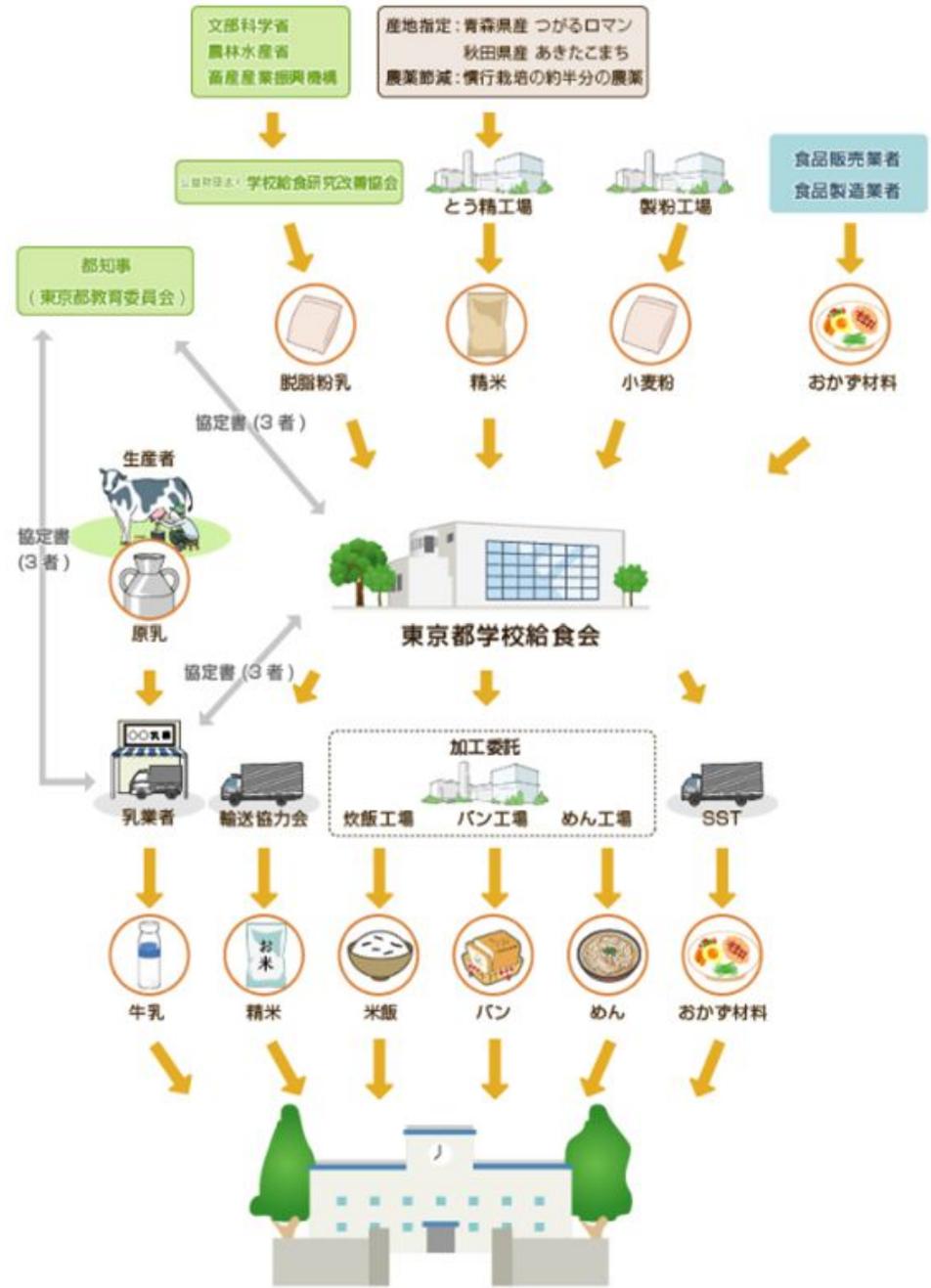
【参加者】4自治体を含む28人が参加

図表 35 都道府県別学校給食用牛乳の供給量とびんの割合（平成 23 年度）



■平成16年度 学校給食牛乳供給形態			
区 域	区市町村名	16年度	17年度
		供給形態	供給形態 変更予定
第1区域	新宿区・目黒区・渋谷区・豊島区・板橋区	びん	明治・関東工場
第2区域	中野区・杉並区・練馬区・武蔵野市・ 西東京市・清瀬市・東久留米市	びん	協同乳業練千葉工場
第3区域	千代田区・文京区・台東区・墨田区	びん	コーシン乳業練習志野工場
第4区域	北区・足立区	びん	日本ミルクコミュニティ・練 日野工場
第5区域	品川区・大田区	紙	日本ミルクコミュニティ・練 海老名工場
第6区域-1	中央区・港区・江東区	びん	森永乳業練東京多摩工場
第6区域-2	荒川区・葛飾区・江戸川区		
第7区域	世田谷区・三鷹市・調布市・狛江市	びん	明治・神奈川工場
第8区域	青梅市・羽村市・瑞穂町・奥多摩町	びん	協同乳業練千葉工場
第9区域	府中市・日野市・多摩市・稲城市	びん	日本ミルクコミュニティ・練 日野工場
第10区域	八王子市・町田市	びん	明治・神奈川工場
第11区域	立川市・昭島市・福生市・武蔵村山市・ あきる野市・日出町・桜原村	紙	グリコ乳業練東京工場
第12区域	小金井市・小平市・東村山市・国分寺 市・ 国立市・東大和市	びん	森永乳業練東京多摩工場
第13区域	新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村 青ヶ島村・小笠原村	紙	森永乳業練東京多摩工場

■牛乳は東京都教育委員会、東京都学校給食会、乳業者との3者協定です。





日野市での取組み

- 平成16年森永乳業の工場改修で、びんラインから紙パックのラインになった。
- 保護者、消費者団体、栄養士会からびん継続の要望があった。
- 東京都に区域変更の要望したが叶わず、乳業メーカーも見つからず、平成17年度は紙パックになってしまった。
- 平成18年度からのびん供給に向けてメーカーを探し、最終的にタカナシ乳業からの供給が実現。
- 国庫補助がなくなったが、その分は市の予算で補填し、保護者負担の増はなし。
- 学校給食会から離脱して独自契約になった。一度離脱した場合、再度参加できるか不安があったが、11月までに申し出れば問題ないとの回答をもらい、安心した。
- 日野市の栄養士会がびん牛乳にこだわったか。「指導上の良さ」(中身が見えることで、“頑張って半分まで飲もう”といった指導がしやすい)、「異物混入がわかりやすい」といった現場での意見があった。



小平市での取組み

- 平成16年6月に突然紙パックに変わるという話が出た。第12区域の小平市、小金井市、東村山市、国分寺市、国立市、東大和市で6市リユースびんネットワークを立ち上げ集会や学習会をした。
- 教育委員会や東京都へ要望書を提出した。
- 国立市で供給できる乳業メーカーが見つかり、小平市も可能か打診し可能となった。
- 小中学校の保護者宛にアンケートを実施。85.9%の回収率で71%がびん牛乳を要望。1本あたり10円～15円の値上げになるがびん牛乳を求める声が大きかった。
- 子どもたちも一緒に紙パックとびんでどう違うかの勉強し、ペーパーサートで発表した。
- 学校給食会からの離脱で補助金がでなくなったが、特に問題なく進められた。



効果

- 「本当の美味しさ」を感じる
- 割れるびんへの配慮を学ぶ。「びんは危ない」に焦点を当てるのでなく「大切に扱う」という教育的な面に焦点を当てる。
- 「中身が見えるので、半分まで飲もうね」と指導しやすい。
- 3Rを理解する身近な教材
- 環境への優しさを体験する



課題

1. 「学校給食会」から外れることの不安
2. コストアップの場合(パスタライズド牛乳)の保護者の同意
3. 保管スペースの確保
4. 乳業メーカーの近距離での確保
5. 市販牛乳180ccと通達による200cc基準との調整

パンフレット



豊かな心と体を育み
環境に対する理解を深めるために
**学校の給食には、
びん入りの牛乳を!**

学校給食に欠かせない牛乳を、食育と環境教育の「生きた教材」に!

学校給食は子どもたちに栄養バランスのよい食事を提供することにより、健康維持や身体の上向上に大きな役割を果たしています。さらに最近では、食育や環境教育の「生きた教材」としても活かされています。牛乳は学校給食に欠かせない存在のひとつで、5大栄養素をバランスよく含んでいます。とくにカルシウムを豊富に含んでいることから、学校給食の栄養摂取基準を維持するために大きく寄与しています。

豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、びん入り牛乳を活かしましょう!

栄養の偏りや食習慣の乱れが多く見受けられる中、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てる食育が注目されています。とくに子どもたちに対する食育は、生涯にわたり健全な心と身体を築き、豊かな人間性を育てていく基礎となるものです。天然素材でできた安心容器「ガラスびん」に入った学校給食用牛乳は、おいしい食育教材としてご活用いただけます。

びん入り牛乳で、本当のおいしさを理解する!

味も匂いもないガラスびんは、中身の牛乳に影響することがないため、牛乳本来のおいしさを味わうことができます。また、びんを通して中身が見える安心感も、おいしさにつながっています。給食の牛乳を毎日ゴクゴクおいしく飲めることは、子どもたちが生き生きと学校生活を送る上で、とても大切なことです。



びん入り牛乳で、モノの大切さを理解する!

家庭の食卓に並べられる茶碗や皿やコップなどの器は、主に陶器やガラスでできているため、大切に扱われ洗ってくり返し使われます。給食の牛乳びんも同じです。割ってしまうこともあるびんに入った牛乳をていねいに運び、あきびんをきちんと戻すことで、子どもたちはモノを大切に扱うことを学びます。

おいしいから「牛乳」はガラスびんがいい!

日本ガラスびん協会が2008年1月に実施したWebアンケート調査によると、「ガラスびんに入っていたらよいと思うもの」で、一番回答が多かったのが「牛乳」でした。その理由については、おいしく感じるという意見が多くみられました。中には「牧場や宅配のものだけでなく、スーパーの牛乳も全部びん入りになればいいのになと思う」という24歳の女性のコメントもありました。

■ガラスびんに入っていたらよいと思うもの

品名	回答数	割合
飲料	27	27%
牛乳	18	18%
ジュース	10	10%
ヨーヨー	9	9%
ジュース	9	9%
デザート	25	25%
ジュース	19	19%
ジュース	12	12%
ジュース	10	10%
デザート	9	9%
デザート	10	10%
デザート	15	15%

※9歳以上および6歳未満の(対象:15~70歳の男女1022人)
 出典:日本ガラスびん協会(ガラスびんの利用に関する調査)



未来に向けて、環境へのやさしさをしっかり育むために、びん入り牛乳を活かしましょう!

気候変動をはじめ、様々な環境問題が深刻化する中、環境教育の重要性が高まっており、「持続可能な社会づくりに貢献する人材育成」を目的とした教育が広く進められています。このような状況において、子どもたちが各教科以外で環境について学ぶことも、非常に大切なことです。エコの優等生容器「ガラスびん」に入った学校給食用牛乳は、環境教育に有効な身近な教材としてご活用いただけます。

びん入り牛乳で、循環型社会づくりのキーワード「3R」を理解する!

循環型社会をつくる取り組みでは、リサイクルだけでなく、ごみの発生を減らすリデュースや何回もくり返し使うリユースが注目されており、環境教育の授業でも取り上げられるようになってきています。家庭ごみの半分以上を占める容器包装の中で、3R(リデュース・リユース・リサイクル)のすべてを学べるのは、ガラスびん以外にはありません!



家庭ごみの約半分が容器包装廃棄物

国内におけるごみの排出量は昭和60年(1985年)前後から急激に増加しましたが、平成12年(2000年)をピークに少しずつ減少してきました。家庭ごみにおける容器包装廃棄物の割合についても、レジ袋の削減や有料化、エコバッグ・マイボトルの推奨等により減少傾向にあります。それでも、まだ半分以上を占めており、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進が強く求められています。

■家庭ごみにおける容器包装廃棄物の割合(平成24年度 容積比)



出典:環境省「資源循環型社会の構築に関する調査報告書」

学乳びん導入自治体からの報告

東京都日野市

“びんは危ない”よりも “びんを大切に扱う”に焦点を当ててほしい!

一旦は紙パック牛乳になってしまった日野市では、栄養士や保護者の団体からの“びん牛乳復活”の要望を受けて、市議会議員や市職員が動き、平成18年度に復活することができました。当時小学生の娘さんを持つ西村民子さんは、「娘はびんになって牛乳がおいしいと言っていました。びんに戻すために働いてくれた方々に感謝です。びんは割れるから心配という声があると聞きますが、びんを大切に扱うことで、その配慮を学ぶことができます。“びんは危ない”に焦点をあてるのではなく、“びんを大切に扱う”という教育的な面に焦点を当ててほしいですね」と振り返って話してくれました。また先生からは、「びんは中身が見えるので、半分まで飲もうね、と指導しやすい」という声もありました。

牛乳メーカーが実施する工場見学

新生酪農株式会社

ほとんどが「びん牛乳がおいしい」と回答。 牛乳びんの洗浄工程でリユースを体験。

現在、近在小学校の社会科見学の工場として見学を受け入れておりますが、びん牛乳を供給している学校だけでなく、紙パックの牛乳が供給されている学校からも見学に来ます。その折、こどもたちに「びん牛乳と紙パック牛乳では、どちらがおいしいか?」という投げかけをするのですが、ほとんどのこどもが「びん牛乳」と回答をします。また、学校や保護者の方からは、「工場で牛乳びんの洗浄工程などを見学することで、実際にびんのリユースを体験でき、食育の一環として理解させやすい」というご意見をいただいたことがあります。



びん再使用ネットワーク

ホームページ <http://www.binnet.org/> Eメール rbin1994@binnet.org

事務局：東京都新宿区新橋 6-24-20 TEL.03-5295-1999(呼) FAX03-5295-1939

東京都小平市

保護者の理解を得ながら、 びん牛乳への切り替えをすすめてほしい!

当時小学3年生と中学1年生の子どもを持つHさんは、当時を振り返って、「紙パックへの突然の変更には納得できない気持ちでした。その後、各方面からの働きかけもあり、教育委員会のすばやい動きで、びん牛乳(低菌殺菌)の業者を確保しました。保護者に向けてのアンケートでも、若干の給食費の値上げにも関わらず、びん牛乳を望む声が多く出ました。アンケートの結果を受け、市では群馬県の東毛酪農との契約を結び、びんの継続が実現しました。子どもたちからの評判も上々でした。紙の二オイもなくおいしい、しかもくり返して何度でも使えるびん牛乳はすぐれもの。保護者への丁寧な説明で理解を得ながら、全国でびん牛乳への切り替えをすすめてほしいですね」と話してくれました。

ガラスびんメーカーが実施する出前授業

東洋ガラス株式会社

3Rの優等生である学乳びんを使って、 身近なライフスタイルとして3Rを学習。

「牛乳びんは3Rの優等生」という体験型教育プログラムを活用して、出前授業を実施しています。具体的には、学校給食とガラスびんを事例として3Rを学びます。軽くなった牛乳びんで原料を少なくできるリデュースを体感し、ゲーム形式でリユースとリサイクルの流れを学び、資源やエネルギーの節約を理解します。学乳びんは、子どもたちが3Rを体感できる容器です。学乳びんの導入は、単に包装容器の選択として考えるのではなく、持続可能な社会の実現に向けたライフスタイルの定着のために、有効な方策と考えています。





26年度からの活動

- 導入支援の詳細資料作成と配布
- びん牛乳の試飲とアンケート調査
- 課題解決に向けた関係方面への働きかけ
- 11月に27年度の導入の意思決定
- 導入決定自治体で、現状(紙パック)での飲み残し、廃棄処理の調査、児童・教師へのアンケート(導入前調査)

27年度は、導入後の環境負荷、教育効果、アンケート調査を実施し、効果の検証を行う。

ご清聴ありがとうございました。

今後とも学乳びん導入支援活動へ
ご理解、ご支援をいただきますよう
よろしくお願い致します。